

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 算数 ）

No.1

調査研究の観点	所 見		
	発行者（ 東京書籍 ） 発行者番号（ 2 ）	発行者（ 大日本図書 ） 発行者番号（ 4 ）	発行者（ 学校図書 ） 発行者番号（ 11 ）
1 内 容	<p>①導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</p> <p>②吹き出しやまとめて数学的な見方・考え方に下線や太字を施し強調している。さらに、統一的、発展的に考えられるような文言を付与している。</p> <p>③単元末には、「算数の目 - 大切な見方・考え方 - 」というまとめがある。</p> <p>④統計的な問題解決の方法をPPDACサイクルで解決することを促している。</p> <p>⑤プログラミング教育に関するページやデジタルコンテンツがある。</p> <p>⑥第5学年「割合」では割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</p> <p>⑦第5学年「単位量当たりの大きさ」の単元の中で、「速さ」を取り扱っている。</p>	<p>①導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</p> <p>②算数の学び方が掲載されており、基本的な課題解決の流れに加えて、新たな気付きをもとに次の課題設定につながることを目指している。その中には、話し方・聞き方も含まれている。</p> <p>③文章や図から読み取ることが課題設定されており、数学的な思考力・判断力・表現力の伸長をねらっている。</p> <p>④統計的な問題解決の方法をPPDACサイクルで解決することを促している。</p> <p>⑤プログラミング教育に関するページやデジタルコンテンツがある。</p> <p>⑥第5学年「割合」では割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</p> <p>⑦第5学年「単位量当たりの大きさ」では「単位量当たりの大きさ(2)」において「速さ」を取り扱っている。</p>	<p>①導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</p> <p>②巻頭に思考力・判断力・表現力、数学的な見方・考え方について説明しているページがあり、児童がどのように学習していけばよいかの指針になっている。</p> <p>③単元末には、「考え方モンスターでふりかえろう」というまとめがある。</p> <p>④統計的な問題解決の方法をPPDACサイクルで解決することを促している。</p> <p>⑤プログラミング教育に関するページやデジタルコンテンツがある。</p> <p>⑥第5学年「割合」では割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</p> <p>⑦第5学年「単位量当たりの大きさ」の単元の中で、「速さ」を取り扱っている。</p>
2 構成・分量	<p>①巻頭に「学びのとびら」がある。</p> <p>②各単元のはじめに、既習の学習をふりかえることができるページがある。</p> <p>③各単元とも、適用の問題や習熟の問題がある。</p> <p>④巻末の「+ (プラス)」には、「ほじゅうのもんだい」や「おもしろもんだいにチャレンジ」がある。</p> <p>⑤各ページにデジタルコンテンツを使用できるようになっているものがある。</p> <p>⑥単元末に「算数の目」という数学的な見方・考え方がまとめられているページがある。</p> <p>⑦巻末に教科書に出てくる言葉や記号の索引がある。</p>	<p>①巻頭に「算数の大切な考え方」がある。</p> <p>②各単元のはじめに、児童の生活にちなんだ課題が設定されている。</p> <p>③毎時の適用問題や巻末の補充問題「プラス・ワン」の問題が設定されている。</p> <p>④「算数たまたまばこ」「読み取る力をのばそう」「学んだことを生かそう」のコーナーがある。</p> <p>⑤各単元に一部、ウェブコンテンツを使用できるようになっているものがある。</p> <p>⑥第3学年～第6学年は、「ふくろう先生のなるほど算数教室」がある。</p> <p>⑦巻末に教科書に出てくる言葉や記号の索引がある。</p>	<p>①巻頭に前学年で学んだ数学的な見方・考え方がまとめられているページがある。左側に思考の流れ、右側に見方・考え方が書いてある。</p> <p>②各単元のはじめに、「はてな発見」として身の回りの場面を扱った課題が設定されている。</p> <p>③巻末の「もっと算数」には、「ほじゅう問題」「ふかめよう」「答え」と自主的に取り組む内容を掲載している。</p> <p>④「考え方モンスター」という興味をもって、取り組める工夫がされている。</p> <p>⑤各単元に一部、デジタルコンテンツを使用できるようになっているものがある。</p> <p>⑥単元ごとに「まなびをいかそう」があり、学んだことを生かして行う問題がある。</p> <p>⑦巻末に教科書に出てきた言葉の索引がある。</p>
3 表記・表現	<p>①「めあて」や「まとめ」が一目で分かるよう、教科書独自のマークなどではなく、「?」や「まとめ」という、日常的に使われる記号や言葉を使用している。</p> <p>②写真は、日常的に目にするものを掲載している。挿絵や図表は色覚に特性をもつ児童でも使いやすいよう配慮がされている。</p> <p>③文章を読む力が十分に身に付いていない低学年段階でも取り組むことができるよう、挿絵が多くなっている。また、ノートを活用した振り返りの例示が載っている。</p>	<p>①問題解決の流れが分かるタグの表示がされており、児童にとって「今何をしているのか」が、教科書を見ても分かるようになっている。</p> <p>②写真は、日常的に目にするものを掲載している。挿絵や図表は色覚に特性をもつ児童でも使いやすいよう配慮がされている。</p> <p>③文章を読む力が十分に身に付いていない低学年段階でも取り組むことができるよう、挿絵が多くなっている。ノートなどの書き方の例示が載っており、自分の考えなどを表現する際の参考になることができるようになっている。</p>	<p>①「数学的な見方・考え方」をキャラクター化して、児童自身が主体的に問題に取り組んでいく際に親しみやすいように配慮されている。</p> <p>②挿絵や図表は色覚に特性をもつ児童でも使いやすいよう区別しやすい色やデザインが採用されている。また、身近な疑問を見付けることにつながられるよう、イラストを使ったお話が単元の最初に掲載されている。</p> <p>③表現力を育むことができるよう、ノートの例示が掲載されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①第1学年～第5学年は上下巻2冊の分冊で、第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>②第1学年の第1・2単元のみA4版で、第3単元以降はB5版である。</p> <p>③第2学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</p> <p>④目次は全学年の学習の系統性が分かるようになっている。</p> <p>⑤巻末には前学年までのまとめが掲載されている。</p> <p>⑥学習者用デジタル教科書導入を見越し、デジタルコンテンツ活用のための二次元コード等が随所に配置されている。</p> <p>⑦吹き出しを使ったヒント（考えるための手がかり）が多用されている。</p> <p>⑧西多摩地区で研究された教材が扱われている。</p>	<p>①第1学年のみ上下巻2冊の分冊で、第2学年～第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>②全学年B5版である。</p> <p>③第2学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</p> <p>④目次は第2学年から第6学年までの学習の系統性が分かるようになっている。</p> <p>⑤巻末のまとめでは、個別最適な学びに対応した工夫がされている。</p> <p>⑥デジタルコンテンツを多く取り入れ、ICT教育推進に対応する工夫がされている。</p> <p>⑦第2学年以降の巻頭に「算数の大切な考え方」が掲載され、数学的な見方・考え方が確認できる工夫がされている。</p>	<p>①第1学年～第5学年は上下巻2冊の分冊、第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>②全学年AB版である。</p> <p>③第2学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</p> <p>④目次は既習事項との関連が分かるようになっている。</p> <p>⑤単元末の振り返りでは、問題ごとに規準が明示されている。また「算数をつかって」では、算数で身に付けた力を使って学びを深める工夫がされている。</p> <p>⑥第1学年、第3学年、第5学年のプログラミング学習では、民間企業と連携した授業が促されている。</p>

## 調査委員会における調査研究報告書

教科名（ 算数 ）

No.2

調査研究の観点	所 見		
	発行者（ 教育出版 ） 発行者番号（ 17 ）	発行者（ 新興出版社啓林館 ） 発行者番号（ 61 ）	発行者（ 日本文教出版 ） 発行者番号（ 116 ）
1 内容	<p>①導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</p> <p>②算数で使いたい考え方を巻頭に記し、統合的・発展的な学びの姿が掲載されている。</p> <p>③「みんなで算数をはじめよう」として基本的な課題解決の流れが掲載されている。</p> <p>④統計的な問題解決の方法をPPDACサイクルで解決することを促している。</p> <p>⑤プログラミング教育に関するページがある。デジタルコンテンツは、ホームページから使用する。</p> <p>⑥第5学年「割合」では割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</p> <p>⑦第5学年「単位量当たりの大きさ」の中で「速さ」を取り扱っている。</p>	<p>①導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</p> <p>②学習の流れが掲載されており、基本的な課題解決の流れに「学びのめばえ」として、新たな問い・気付きをもとに次の課題設定につながっている。</p> <p>③巻頭に「算数のとびら」として、学習の進め方が掲載されている。</p> <p>④統計的な問題解決の方法をPPDACサイクルで解決することを促している。</p> <p>⑤プログラミング教育に関するページやデジタルコンテンツがある。</p> <p>⑥第5学年「割合」では割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</p> <p>⑦第5学年「単位量当たりの大きさ」と「速さ」をそれぞれの単元として取り扱っている。</p>	<p>①導入に身近な事柄が挿絵で描かれ、基礎的・基本的な内容を押さえてから段階的に習熟度を上げていく配慮がなされている。</p> <p>②学習の流れが掲載されており、基本的な課題解決の流れが明示されている。</p> <p>③巻末に「数学的な考え方」や「表現例」があり、児童の思考力・表現力の支援になっている。</p> <p>④統計的な問題解決の方法をPPDACサイクルで解決することを促している。</p> <p>⑤プログラミング教育に関するページがある。デジタルコンテンツは、スクラッチを利用して、使用することができる。</p> <p>⑥第5学年「割合」では割増・割引の両方が問題として取り扱われている。</p> <p>⑦第5学年「単位量当たりの大きさ」の単元の中で、「速さ」を取り扱っている。</p>
2 構成・分量	<p>①巻頭に前学年で学んだ数学的な見方・考え方がまとめられているページがある。</p> <p>②各単元のはじめに、既習の学習を振り返ることができるページがある。</p> <p>③「ステップアップ算数」という自分で取り組むページがある。</p> <p>④「表計算ソフトにちょうせん」というExcelを利用した学習のページがある。</p> <p>⑤「まなびリンク」という学習に役立つ情報をウェブサイトで見ることができる。</p> <p>⑥単元末に「算数ワールド」があり、学んだことを生かして解く問題が設定されている。</p> <p>⑦巻末に教科書に出てきた言葉の索引がある。</p>	<p>①巻頭に「算数のとびら」がある。</p> <p>②各単元のはじめに、「これから学習することのめあて」が掲載されている。</p> <p>③巻末の「学びのサポート」には、「じゅんび」「もっと練習」「答え」「学びをつなげよう」と自主的に取り組む内容を掲載している。</p> <p>④「学びをいかそう」という既習事項を活用して取り組む問題を掲載している。</p> <p>⑤各単元に一部、「かいせつ動画」というデジタルコンテンツを使用できるようにしているものがある。</p> <p>⑥単元ごとに「学びのまとめ」があり「たしかめよう」→「ふりかえろう」→「やってみよう」という学びを生かすことのできるページがある。</p> <p>⑦巻末に教科書に出てくる言葉や記号の索引がある。</p>	<p>①巻頭に算数学習の進め方がまとめられている。</p> <p>②各単元の前に「次の学習のために」があり、新しい単元に入る前に既習事項定着の確認や学習の準備ができるように構成されている。</p> <p>③第2学年～第6学年は、巻末に「算数マイトライ」があり、基礎・基本を繰り返し学習できるページや応用的・発展的に学ぶことができるページがある。</p> <p>④第6学年の「マテマランドを探検しよう！」では、漫画を活用し、児童が興味をもって取り組める構成になっている。</p> <p>⑤各単元に一部、デジタルコンテンツを使用できるようになっているものがある。</p> <p>⑥巻末に算数で使いたい数学的な見方・考え方がまとめられているページがある。</p> <p>⑦巻末に教科書に出てくる言葉や記号の索引がある。</p>
3 表記・表現	<p>①同じ単元内でも、習熟度に応じて、つまづきを解決する補足資料が載っていたり、発展問題を掲載していたりする。</p> <p>②学んだことを日常生活に活用している場面の写真が掲載されている。また、単元末に4コマ漫画が載っており、学習内容の見方・考え方が、記憶に残るような工夫がなされている。</p> <p>③ユニバーサルカラーやユニバーサル文字が使用されており、読みやすい文章で書かれている。</p>	<p>①どの学年でも、つまづきへの対応ができるよう、単元ごとに全段階までの学習内容が設定されていることが多い。</p> <p>②国際理解・多様性を尊重できるキャラクターや、海外の写真などを採用している場面がある。</p> <p>③ユニバーサルデザイン（色覚や視覚の個人差に問わず見やすい配色、フォント）を採用している。1年生は操作的活動から、書く活動へと定着していくことができるような配慮がされている。</p>	<p>①「定義」（知識として覚えるもの）と、「まとめ」が混同しないように工夫されている。</p> <p>②実際に見ることができないものが写真で掲載されている。また、文章題の内容を視覚的にとらえられるよう挿絵を掲載している。</p> <p>③当該学年以上の漢字にルビが振られており、文章が読むところでつまづかないよう配慮されている。教科書の情報が、児童に正しく伝わるよう色やデザインに配慮されている。</p>
4 使用上の便宜	<p>①第2学年、第3学年、第4学年は上下巻2冊の分冊、第1学年、第5学年、第6学年が1冊で構成されている。</p> <p>②全学年B5版である。</p> <p>③第2学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</p> <p>④目次は既習事項との関連が分かるようになっている。</p> <p>⑤単元末のまとめでは、対応した既習ページ番号が記載されている。巻末には学年を越えた既習事項の振り返りや発展的な学習課題、また数学的な技能習熟を図るためのページがまとめられている。</p> <p>⑥「まなびリンク」によるデジタルコンテンツが活用できる工夫がされている。</p>	<p>①第2学年、第3学年、第4学年は上下巻2冊の分冊、第1学年、第5学年、第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>②第1学年の第1～3単元まではA4版、第4単元以降はB5版である。</p> <p>③第1学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</p> <p>④目次は既習事項との関連が分かるようになっている。</p> <p>⑤単元末の「たしかめよう」では、対応した既習ページ番号が記載されている。</p> <p>⑥デジタルコンテンツでは、学年を越えた利用が可能な工夫がされ、どの学年のどの内容についても学び直しや準備ができるようになっている。</p>	<p>①第1学年～第4学年は上下巻2冊の分冊、第5学年・第6学年は1冊で構成されている。</p> <p>②全学年B5版である。</p> <p>③第2学年～第6学年の巻末の索引は、算数用語をもとに対応する学習ページを調べることができる。</p> <p>④目次は既習事項との関連が分かるようになっている。</p> <p>⑤各単元の右下のページには補充問題、単元末には発展問題があり、個別最適な学びに対応できるような工夫がされている。巻末には活用力・総合力を試す問題があり、より高い次元での興味・関心を喚起する工夫がされている。</p> <p>⑥プログラミング学習の内容を全学年に配置し、プログラミング的思考を育むための工夫がされている。</p>